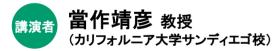
関西大学大学院 外国語教育学研究科 客員教授講演会



外国語教育は どうあるべきか



- 2020年12月5日 | 土 | 午後1時00分~午後2時30分
- 形式 オンライン【Zoom】ID: 992 4809 1373
- 先着300名

新型コロナウィルスの世界的な感染拡大により、私たち の社会はまたたくまに大きく変化しました。感染症の収束 の先行きが見えない中、この変化は定着し、ニューノーマ ル社会となりました。教育界では対面授業からオンライン 授業に変わり、ディジタルトランスフォーメーションが急激 に進みました。オンライン授業を効果的に行うために対面 授業の内容をそのままディジタル化するのではなく、授業 の内容の変化も必要となりました。この過程の中で大学教 育は必要か、大学教育は今のままでいいのかという疑問 も出るようになりました。ニューノーマルという新しい社会 ※関大Webメールのアカウントでのみ参加可能です に対応できる人間を作り出す教育が要求されるようになり ました。歴史の中でこれまで何度もパンデミックが起こって きましたが、そのたびに、それまでのノーマルを断ち切り、 新しいノーマルに対応するため、社会が大きく変わってき ました。今回も社会が大きく変わりましたが、それに対応し、 教育も変わる必要があります。この講演では、ニューノー マル社会への変化にあたり、外国語教育はどのように変 わるべきかを考えてみます。